

宮廷の栄華

唐の女帝・則天武后とその時代展

中国の歴史の中で、唯一の女帝であった則天武后は、唐の国号を周に改めるなど、専横で暴虐的な印象が持たれてきた。しかし、彼女の治世は政治的に安定し、政治・経済・文化・宗教の各方面で優れた業績を残すことにもなった。その唐の都の長安のあった陝西省と洛陽のあった河南省、そして則天武后ゆかりの山西省の3省から、当時の華麗な宮廷文化を物語る資料を紹介する展覧会である。当時の日本があこがれた、唐の文化の粋を、祈り・宮廷生活・則天武后の3部で構成し、好評をえた。



※この図録は現在当館では扱っておりません。

会期／平成11年1月23日（土）～平成11年3月22日（月）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

主催／神戸市立博物館、NHK神戸放送局、NHKきんぎメディアプラン

中国陝西省文物事業管理局、河南省文物管理局、山西省文物局

後援／外務省、文化庁、中国大使館、中華人民共和国文化部、中国国家文物局

兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

協賛／中国西北航空公司

開催日数／51日

入館者数／81, 905人

出品件数／154点